

# SPAC 秋→春のシーズン2020-2021

## #1『妖怪の国の与太郎』

### 一般公演

11月14日(土)14:00 開演……………掛川市生涯学習センター ホール

12月19日(土)・20日(日)各日 14:00 開演……………静岡市民文化会館 中ホール

### 中高生鑑賞事業公演

9月30日(水)～12月18日(金)……………

浜松市雄踏文化センター、磐田市竜洋なぎの木会館、三島市民文化会館(ゆうゆうホール)、裾野市民文化センター

富士宮市民文化会館、掛川市生涯学習センター、沼津市民文化センター、浜松市天竜壬生ホール

袋井市メロープラザ、静岡市民文化会館 [10会場・全37公演(予定)]

## #2『病は気から』

### 一般公演

2021年1月23日(土)・24日(日)各日 14:00 開演……………静岡市民文化会館 中ホール

### 中高生鑑賞事業公演

2021年1月14日(木)～29日(金)……………

富士市文化会館(ロゼシアター)、静岡市民文化会館、浜松市浜北文化センター [3会場・全9公演(予定)]

## #3『ハムレット』

### 一般公演

2021年2月11日(木・祝)……………下田市民文化会館

### 中高生鑑賞事業公演

2021年2月12日(金)～3月11日(木)……………

下田市民文化会館、浜松市福祉交流センター、焼津文化会館、静岡市民文化会館、富士宮市民文化会館

[5会場・全14公演(予定)]

### 「SPAC 秋→春のシーズン」広報に関するお問い合わせ

SPAC・静岡県舞台芸術センター制作部 広報担当

内田稔子(uchida@spac.or.jp)・坂本彩子(sakamoto@spac.or.jp)

計見葵(keimi@spac.or.jp)・西村藍(nishimura@spac.or.jp)

TEL:054-208-4008(舞台芸術公園)

## 秋→春のシーズン 2020-2021 概要

皆様を劇場にお迎えする準備が整いました！

——— 宮城 聡

数ヶ月前に「三密」という言葉が流布されるようになった頃、たぶん日本の演劇人のほとんどは絶望して天を仰いでいたと思います。

なにしろ、演劇は「三密」そのものであり、「三密」こそ演劇の醍醐味だと思われていたからです。

でもでも。新型コロナ禍は一種の「歴史のまばたき」で、ついこの間まで当たり前だと思われていたことが実は当たり前でない、と気づかせてくれました。われわれは最近の百年間の劇場だけを「劇場というもの」だと思い込んできましたが、もうちょっとさかのぼると、実は演劇の歴史は大半が「疫病への対応」の歴史だったことに気づいたのです。

そこで今回 SPAC では、〈お客様同士で伝染らないための対策〉〈舞台側からお客様に伝染さないための対策〉〈舞台裏でスタッフが感染しないための対策〉、そして最後に〈舞台上で、出演者が共演者に伝染さないための演出の変更〉をとことん追求しました。

え？舞台上で俳優どうしが濃厚接触しないなんて、そんなこと出来るの？と思われるかもしれませんが。でも出来るんです！アイディアは百年以上前の演劇のなかにあったんです。

この秋から冬、SPAC は県内のいろいろな劇場にうかがって公演します。

どんな演出になったのか、ぜひお近くの劇場でお確かめください。

(みやぎ さとし / SPAC 芸術総監督)

1959年東京生まれ。東京大学で演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。14年アヴィニオン演劇祭から招聘された『マハーバーラタ』の成功を受け、17年『アンティゴネ』を同演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演。アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。平成29年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。



### SPAC 秋→春のシーズンとは

SPAC・静岡県舞台芸術センターでは、毎年10月から3月にかけて「秋→春のシーズン」と題し、宮城聡と国内外の注目の演出家たちが、「もし演劇の教科書があったのなら、必ず掲載されるであろう」古今東西の名作の数々を、静岡芸術劇場で連続上演しています。週末の一般公演とともに、平日は県内の中高生を対象とした招待公演（中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP(スペースシップ)げきとも！」）も行っており、2019年度は約13,000人の生徒が観劇しました。今年度は、グランシップの大規模修繕工事による2021年9月(GWを除く)までの静岡芸術劇場休館に伴い、県内各市町の文化施設で実施します。また、オンラインでの映像ライブ配信も決定しました。様々な理由で劇場に足を運ぶことができない方の元へ、多様な形で演劇をお届けします。

### ウィズコロナ時代の新たな作品創作

新型コロナウイルス感染症の拡大により、SPACも2月以降多くの公演を中止・延期しました。しかし5月以降、「演劇や劇場がどうしても必要だ」という方々に演劇を届けるべく、オンラインでの「くものうえせかい演劇祭」や電話で俳優が名作を朗読する「でんわ de 名作劇場」など新たな事業を行い、演劇のあり方を模索してきました。

そして8月中旬、様々な状況判断のもと「秋→春のシーズン」に向け稽古を開始しました。検温や稽古場内の消毒、マスク・フェイスシールドの着用といった一般的な感染防止対策は勿論のこと、作品の演出そのものを“ソーシャルディスタンス”仕様(俳優同士が身体的に触れ合うシーンを無くす、マスク・フェイスシールドを着用のうえでも近距離間での発声は行わない、台詞を発する方向4m以内に他者がいないようにする)に変更。また、渡航制限により演出家の来日が叶わない作品では、ヨーロッパと日本をZoomで繋ぎ、リモート稽古を実施しました。

## 秋→春のシーズン 2020-2021 上演ラインナップ

### #1 『妖怪の国の与太郎』【2019年初演】



『妖怪の国の与太郎』(2019) 静岡芸術劇場 ©K.Miura

フランス・スイス・日本の国際共同制作作品として 2019 年に初演され、コミカルかつ詩的な人気作が、早くも再演となる。死後、おかしな世界に迷い込んだ与太郎は、次々と現れる妖怪たちに翻弄され……。奇想天外な旅を描く、愉快的音楽劇。

新型コロナウイルス感染症の影響により、演出家たちが来日できないなかでも、フランス・スイス・静岡を Zoom で繋ぎ稽古を行った。また、今回は一部ダブルキャストでの上演となるため、新しいキャストも加わり、本作が放つ「笑い」の魅力を存分に生かしながらも感染予防に対応した演出版として、掛川・静岡に登場する。

演出：ジャン・ランベール＝ヴィルド、ロレンゾ・マラゲラ

台本・翻案・ドラマツルギー：ジャン・ランベール＝ヴィルド、平野暁人、出演者ならびにワークショップ参加俳優一同

翻訳：平野暁人 音楽：ジャン＝リュック・テルミナリアス、棚川寛子

出演：大内智美◇、大内米治◆、木内琴子、木皮成◇、貴島豪◆、小長谷勝彦◆、本多麻紀◇、三島景太

宮城嶋遥加、森山冬子◆、山崎皓司◇、吉植荘一郎、渡辺敬彦 [50音順]

※一部ダブルキャストによる上演となります。

◇11月7日までの出演(中学生鑑賞事業公演のみ) ◆11月12日からの出演(中学生鑑賞事業公演および一般公演)

#### 公演日

##### 一般公演

11月14日(土)14:00 開演……………掛川市生涯学習センター ホール

12月19日(土)・20日(日)各日 14:00 開演……………静岡市民文化会館 中ホール

##### 中高生鑑賞事業公演

9月30日(水)～12月18日(金)……………

浜松市雄踏文化センター、磐田市竜洋なぎの木会館、三島市民文化会館(ゆうゆうホール)、裾野市民文化センター  
富士宮市民文化会館、掛川市生涯学習センター、沼津市民文化センター、浜松市天竜壬生ホール

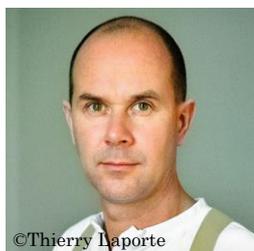
袋井市メロープラザ、静岡市民文化会館 [10会場・全37公演(予定)] ※中高生鑑賞事業公演の一般販売はございません。

##### 映像ライブ配信

12月5日(土) ※配信開始時間、配信方法等詳細は決定次第公式サイトにて発表します。

★親子で楽しもう★  
ファミリー割引あり

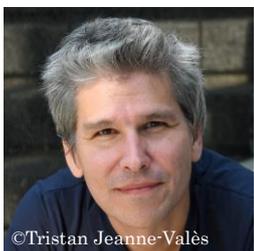
#### 演出家プロフィール



©Thierry Laporte

ジャン・ランベール＝ヴィルド Jean Lambert-Wild

1972年、南インド洋に位置するフランス海外県・レユニオン島生まれ。劇作家・演出家・俳優。特異な風土で培われた詩的想像力と、魔術的演出術が高く評価され、異例の若さでフランス各地の国立演劇センターの芸術監督を歴任。SPAC では『スガンさんのやぎ』(11年)、『ジャン×Keitaの隊長退屈男』(14年)、『リチャード三世 ～道化たちの醒めない悪夢～』(18年)を上演。



©Tristan Jeanne-Valès

ロレンゾ・マラゲラ Lorenzo Malaguerra

演出家・俳優。ジュネーヴ大学にて地理学の修士号を取得後、ジュネーヴ高等演劇学校(ESAD)で俳優としての研鑽を積む。09年、スイス・モンテーにあるクロシュタン劇場の芸術監督に就任。12年より、ランベール＝ヴィルドと創作を共にし、共同演出作品には『ゴドーを待ちながら』『リチャード三世 ～道化たちの醒めない悪夢～』のほか、『ロベルト・ズッコ』、『ドン・ジュアン あるいは石像の宴』などがある。

## #2 『病は気から』【2012年初演】



『病は気から』(2017)静岡芸術劇場 ©Yamokuma

さいたまスーパーアリーナで上演した「1万人のゴールド・シアター」や東京芸術祭の大規模野外劇を任されるなど、今最も勢いのある脚本・演出家ノゾエ征爾。その手腕を發揮し、フランスを代表する劇作家・モリエールの喜劇をポップな現代劇に仕立てた人気作が、待望の再再演！病気だと思ひ込む主人公と、自分のことで精一杯のちょっとおかしな人々がくり広げるドタバタコメディ。

潤色・演出：ノゾエ征爾 原作：モリエール(「モリエール全集」臨川書店刊／秋山伸子訳より)

出演：阿部一徳、石井萌水、大高浩一、加藤幸夫、榊原有美、富川一人、本多麻紀、牧山祐大 [50音順]

### 公演日

**一般公演** 2021年1月23日(土)・24日(日)各日14:00開演……静岡市民文化会館 中ホール

**中高生鑑賞事業公演** 2021年1月14日(木)～29日(金)……

富士市文化会館(ロゼシアター)、静岡市民文化会館、浜松市浜北文化センター [3会場・全9公演(予定)]

※中高生鑑賞事業公演の一般販売はございません。

**映像ライブ配信** 2021年1月9日(土) ※配信開始時間、配信方法等詳細は決定次第公式サイトにて発表します。

### 演出家プロフィール



#### ノゾエ征爾 (のぞえ・せいじ)

脚本家、演出家、俳優。劇団「はえぎわ」主宰。1975年生まれ。青山学院大学在学中の99年に「はえぎわ」始動。以降、全作品の作・演出を手がける。ユーモア溢れる独自の視点で、役者や空間を活かす豊かな演出が魅力。2012年、『〇〇トアル風景』で第56回岸田國士戯曲賞受賞。映画やTVドラマなど俳優としても多数出演。16年、さいたまスーパーアリーナで高齢者1600人出演の1万人のゴールド・シアター 2016『金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～』の脚本・演出を手がけた。近年の演出作品に、音楽劇『トムとジェリー～夢よもう一度～』、東京芸術祭 2019野外劇『吾輩は猫である』、PARCO Production『ボクの穴、彼の穴。』、『ピーター&ザ・スターキatcher』(12月新国立劇場上演予定)など。

## #3 『ハムレット』【2008年初演】



『ハムレット』(2008)静岡芸術劇場 ©原田さやか

このままで、いいのか、いけないのか。それが問題だ(To be, or not to be, that is the question.)——数々の名セリフに彩られたシェイクスピアの傑作悲劇『ハムレット』。宮城聡が2008年、孤独や将来の不安を抱える多感な中高生の時期にこそ観てもらいたいと手掛けた本作が、2015年の再演を経て6年ぶりに登場する。俳優たちの力強い語りと打楽器の生演奏が奏でる珠玉の舞台がここに。

演出：宮城聡 作：ウィリアム・シェイクスピア 翻訳：小田島雄志 音楽：棚川寛子 出演：SPAC

### 公演日

**一般公演** 2021年2月11日(木・祝)……下田市民文化会館

**中高生鑑賞事業公演** 2021年2月12日(金)～3月11日(木)……

下田市民文化会館、浜松市福祉交流センター、焼津文化会館、静岡市民文化会館、富士宮市民文化会館

[5会場・全14公演(予定)] ※中高生鑑賞事業公演の一般販売はございません。

## チケット

---

### 発売日

#### #1『妖怪の国の与太郎』

SPAC の会 会員先行予約開始:10月11日(日) 10:00

一般前売開始:10月18日(日) 10:00

#### #2『病は気から』 #3『ハムレット』

SPAC の会 会員先行予約開始:12月6日(日) 10:00

一般前売開始:12月13日(日) 10:00

### 購入方法

SPAC チケットセンター ※グランシップ休館に伴い、2020年9月8日～2021年2月下旬まで窓口を休業いたします。

- 電話予約 TEL: **054-202-3399** (10:00～18:00・休業日を除く)
- ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>  
★【ウェブ予約→クレジットカード決済】の場合、セブン-イレブン/郵送でのチケットのお引取りのほか、**電子チケット「モバパス」**もお選びいただけるようになりました！  
※ご利用にはお手持ちのスマートフォンへアプリのダウンロードが必要です。

【当日券】 残席がある場合のみ、開演1時間前より各公演会場受付にて販売

※当日券販売の有無を、公演当日に必ずお電話もしくは Twitter(@\_SPAC\_) でお確かめください。

### チケット料金

※全てのチケット代金は税込価格です。 ※各種割引の併用はできません。 ※乳幼児を連れてのご入場はご遠慮ください。

- 一般: **4,200円**
- ペア割引: 3,700円(2名様で1枚につき)
- グループ割引: 3,300円(3名様以上で1枚につき) ※10名様以上の場合は電話のみのお取り扱い
- ゆうゆう割引: 3,500円(満60歳以上の方) ※公演当日、受付にて身分証をご提示ください。
- 学割: [大学生・専門学校生] 2,000円  
[高校生以下] 1,000円 ※公演当日、受付にて学生証をご提示ください。
- 障がい者割引: 2,900円 [障害者手帳をお持ちの方]  
※公演当日、受付にて障害者手帳をご提示ください。 ※付添の方(1名様)は無料 ※電話のみのお取り扱い
- 『妖怪の国の与太郎』ファミリー割引: 3,300円(高校生以下を同伴の大人1名につき)  
※電話のみのお取り扱い

## 新型コロナウイルス感染拡大予防への取組とご来場の皆様へのお願い

---

SPAC では、「静岡県実施方針」および(公社)全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づいた感染防止策を徹底し、「秋→春のシーズン 2020-2021」の各公演を開催いたします。皆様の御理解・御協力をお願いいたします。

★詳細はこちらからご覧ください。 >>>>>



## アクセス

---

### 掛川市生涯学習センター 〒436-0068 掛川市御所原 17-1 >> 『妖怪の国の与太郎』

電車 ◎JR「掛川駅」より北へ 1.3km、徒歩約 20 分

自家用車 ◎東名高速道路:掛川 I.C.より北へ 2.5km ◎掛川バイパス:西郷 I.C.より南へ 1.6km

### 静岡市民文化会館 〒420-0856 静岡市葵区駿府町 2-90 >> 『妖怪の国の与太郎』『病は気から』

電車 ◎JR「静岡駅」から徒歩 25 分 (しずてつバス「市民文化会館入口」下車。バス停より徒歩 1 分)

◎静岡鉄道「新静岡駅」または「日吉町駅」から徒歩 10 分。

自家用車 ◎東名高速道路:静岡 I.C.より約 25 分。

### 下田市民文化会館 〒415-0024 下田市 4 丁目 1-2 >> 『ハムレット』

電車 ◎「伊豆急下田駅」から徒歩 7 分

自家用車 ◎東京方面:国道 135 号線、南伊豆方面→国道 136 号線

◎松崎方面:県道下田松崎線、天城方面→国道 414 号線

## お問い合わせ

---

SPAC チケットセンター TEL: **054-202-3399** (10:00~18:00・休業日を除く)

★「SPAC 秋→春のシーズン」の最新情報は、公式サイトにて随時お知らせいたします。

SPAC 公式サイト <https://spac.or.jp>

### SPAC-静岡県舞台芸術センター

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2 丁目 3-1

TEL:054-203-5730(静岡芸術劇場) / FAX:054-203-5732 / E-mail:mail@spac.or.jp

#### 【報道関係お問い合わせ先】

お問い合わせ、取材のご希望、上演作品の画像等が入用の場合は、下記までご連絡ください。  
また、情報を掲載いただける際にも、下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

#### SPAC-静岡県舞台芸術センター制作部

広報担当 内田稔子(uchida@spac.or.jp)・坂本彩子(sakamoto@spac.or.jp)

計見葵(keimi@spac.or.jp)・西村藍(nishimura@spac.or.jp)

TEL:054-203-5730(静岡芸術劇場) / 054-208-4008(舞台芸術公園)

主催:SPAC-静岡県舞台芸術センター

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
ふじのくに芸術祭共催事業



GOOD DESIGN  
AWARD 2018